

令和7年度議員研修会のテーマ等について

【緑風会】

- テーマ（具体的に）：新規事業の協議、先議、先決処分案件、通年議会の導入について
- 講師氏名：所沢市議会
- 理由等（具体的に）：所沢市議会において、上記テーマを実施している。また、和光市議会においても議会改革で検討している最中のため。

【新しい風・希望】

案1

- 実施時期：議会日程と講師の日程で調整。
- テーマ（具体的に）：「情報化が進む中での子育て
- 講師氏名：成田菜緒子（文教大学 教育学部 発達教育課程教授）
- 講師謝礼額（わかれば）：メールにて問合せ。
- 理由等（具体的に）：幼少期での子育てに関して、少子化の中で若い世代での子育てに対する不安が指摘されている。さらには、スマホでの SNS やゲームアプリの利用での事件などが伝えられている。「発達障害」の指摘もある。

「こどもまんなか社会」ということが子ども家庭庁で採り上げられている。社会での子育て支援と負うことも指摘されている。

この点を踏まえた、子育てと行政の支援に関しての研修をお願いできればと考える。

【参考】

講演会のご依頼をお考えの方に～

いつもたくさんの講演のご依頼をいただき、本当にありがとうございます。

私が行っている講演会についてご紹介とお知らせをさせていただきます。

講演の内容について

私の臨床・研究経験からお話できることを、子育て中のお母様を初めとする一般の方や保育士、教員、保健師などの専門家の方を対象として講演会の形で行わせていただいております。

以下が、講演タイトルの一例です。

よい脳の育て方 知力と心を共に育てよう

「今からでも遅くない！子どもの力を引き出す脳育て」～いつからでも、何歳からでも脳は育つ！～

発達障害のある子どもたちに対する『育て方支援』

早起きリズムで脳を育てる－生活リズムと子どもの発育・発達－

打たれ強い脳を作ろう

発達障害：親子支援の重要性

幼児期に大切にしたい脳の育ち－心と身体を育むために－

賢く元気な脳育て－何歳からでも間に合います－

食育は脳育！正しい脳育ての極意

医学・脳科学から“キレる子”“我慢できない子”等を考える

絵本と脳ー小児科医の絵本学ー

脳を育てる朝ごはん

広汎性発達障害児の思春期

自閉症の医学的知識ー脳と心のアンバランスさについてー

脳から見た人間理解

脳の進化で子どもが育つ

パワーポイントでのプレゼン形式での講演会が一般的ですが、その他の形式での講演も承りますので、ご要望があれば応募フォームにお書きください。

講演のご予約について

現在、大学教員以外に病院の医療業務、福祉施設での相談業務等を兼務しており、これらの業務に支障のない時間帯に講演会を組み入れます。

スケジュールによってはお断りせざるを得ないことをどうかご了承ください。

講演会のご予約は、メールでのみ受け付けます。

下記の内容を記載の上、nnarita@bunkyo.ac.jp までお申込みください。

電話でのご依頼は大学業務に支障をきたしますので、どうかご遠慮ください。

- ・ご依頼者（代表者）のお名前・所属
- ・ご依頼者のメールアドレス・電話番号・あればFAX番号
- ・講演会の種類：対面かオンラインか
- ・対面の場合：講演会会場（候補）の名称・住所・最寄り駅からの交通
- ・オンラインの場合：
 - 使う媒体と開催形式（例：ズームで参加者がいる会場と講師をつなぐ）
- ・講演日程の候補3つ以上
 - 例：(1) 5月14日金曜日 10～12時 (2) 5月20日木曜日 14～16時 (3) 6月1日火曜日 10～12時
- ・参加者の属性とおおよその人数（例：小学校教員 80名程度）
- ・講師料の予算
- ・講演会の内容についての希望などその他ご要望

■案2

- 実施時期：議会日程と講師の日程で調整。
- テーマ（具体的に）：「子ども自殺防止対策について」
- 講師氏名：高橋聡美（元防衛医科大学校 精神看護学教授／一般社団法人高橋聡美研究室 代表理事）
- 講師謝礼額（わかれば）：メールにて問合せ。
- 理由等（具体的に）：小中高生の自殺者数が、全体的に漸増状況あるが、男性の減少傾向に対して女性の増加傾向が顕著である。こども家庭庁の動きに関し、自治体でも「こどもまんなか」の計画策定、取組を行っている。保健・福祉の分野でも自殺対策を講じてきている。
子ども（小中高生）の自殺防止に向け、行政として、また、地域での取組についての研修を行う。

《参考》

教職員・行政、児童・生徒、支援者、一般向けの講演を全国で行っている。例、「子ども・若者の自殺対策の研修」、「子どものメンタルヘルスの動向とSOSの受け止め」など。

【無所属の会・維新】

- 講師氏名：所沢市議会
- 講師謝礼額（わかれば）：費用負担なし

第1 希望

議会改革やDX(デジタルトランスフォーメーション)推進において先進的な取り組みを行っている行政への視察を研修会とすることを提案します。

所沢市議会の先進事例

先進的な取り組みを行っている所沢市は、議会改革やDX(デジタルトランスフォーメーション)推進において、いくつかの先進的な取り組みを行っています。特に注目されるのは、議会運営の効率化と市民への情報公開の促進です。

1. 議会改革への積極的な取り組み

- 議会基本条例の制定と見直し: 所沢市議会は、議会基本条例を制定し、議会の役割、運営、議員の活動原則などを明確にしています。さらに、これを随時見直し、時代に合わせた議会運営を目指しています。
- 専門的知見の活用: 政策形成や評価において、大学や研究機関などの専門的知見を積極的に活用しています。
- 議会事業評価・議会改革評価: 議会活動や改革の取り組みについて、定期的に評価を行い、その結果を公開しています。これにより、PDCA サイクルを回し、継続的な改善を図っています。
- 論点情報の形成(統一フォーマットの資料): 議会審議において、議員間での議論を深めるため、統一フォーマットの資料を作成し、論点整理を行っています。
- 一問一答方式の導入: 現在はほとんどの質問で一括方式ではなく、一問一答方式を導入しており、より活発な議論を促進しています。
- 閉会中の文書による質問: 議会の開会中だけでなく、閉会中も文書による質問を可能にし、議員の調査研究や行政へのチェック機能を強化しています。
- 自由討議の実施: 活発な議員間討議を促すため、自由討議を導入しています。
- 予算常任委員会の設置: 予算審査の専門性を高めるため、予算常任委員会を設置しています。

2. 広聴広報活動の強化と ICT 活用

- 広聴広報委員会の設置: 市民の意見を聴き、議会活動を分かりやすく発信する専門の委員会を設置しています。
- 議会報告会の開催(オンライン含む): 定期的に議会報告会を開催し、市民と直接意見交換を行っています。オンライン形式も取り入れ、参加しやすい環境を整備しています。
- 政策討論会の開催: 特定の政策テーマについて、市民や専門家を交えた討論会を開催し、多角的な視点から議論を深めています。
- 「みみ丸カフェ」と「高力カフェ」の開催: 市民や高校生との意見交換会を定期的に開催し、若い世代や幅広い層の意見を議会活動に反映させる努力をしています。

- 所沢市議会公式 YouTube チャンネル開設: 議会中継のライブ配信に加え、公式 YouTube チャンネルで多様な議会関連情報を発信しています。
- インターネット中継への AI 字幕導入: 議会中継に AI による字幕を導入することで、聴覚に障がいのある方や、音声聞き取りにくい環境でも議会の内容を把握できるように配慮しています。これは、アクセシビリティ向上の先進事例と言えます。
- 「ところざわ市議会だより」の充実と全戸配布: 広報紙をリニューアルし、全戸配布することで、議会情報を広く市民に届けています。

3. DX(デジタルトランスフォーメーション)推進

- 所沢市 DX 推進基本方針・実行計画の策定: 市全体としてデジタル化を推進するための「所沢市 DX 推進基本方針」を策定し、具体的な実行計画(令和 6 年度版)に基づいて、行政サービスや業務のデジタル化を進めています。
- 市民の利便性向上: 行政手続きや問い合わせのオンライン化、ニーズに合った情報提供、多様な決済手段の導入などを進め、「人にやさしいデジタルが暮らしに浸透したまち」を目指しています。
- 「スマホは世代を繋ぐ架け橋! 富岡シニアスマホ学園」: 高齢者を対象としたスマートフォン教室を開催し、学生が講師を務めることで、世代間の交流を促しながらデジタルデバйд解消に取り組んでいます。この取り組みは「全国都市改善改革実践事例発表会」で最優秀賞を受賞するなど、高く評価されています。

所沢市議会は、単に IT ツールを導入するだけでなく、議会の役割や市民との関係性を見直し、市民にとって「開かれた、分かりやすい、身近な議会」を目指している点で、先進的な取り組みと言えます。

第2 希望

1. ICT 活用による議会 DX・情報発信の推進

茨城県取手市議会

- SNS を活用した積極的な情報発信: 定例会の開催情報だけでなく、住民との意見交換会や視察の内容など、議会情報を幅広く発信しています。PTA との意見交換会の模様を SNS で発信するなど、市民との距離を縮める工夫が見られます。
- 議員による ICT 活用: 多くの議員が議会にパソコンやタブレット端末を持ち込み、スライドや写真を使って質問を行うことで、インターネット中継の視聴者にも分かりやすい情報発信を実践しています。

第3 希望

上尾市議会の事例

上尾市では、議会改革特別委員会が中心となり、議員間討議の試行導入を進めています。

- 常任委員会での議案審査時に、議員同士が論点を整理し合意点を模索
- 討議は原則 30 分以内、市執行部も同席
- 「ポジショントークではない各論の議論」を重視し、政策のメリット・デメリットを住民と共有する姿勢を強調

どちらの事例も、単なる質疑応答にとどまらず、議員同士の対話を通じて合意形成を図るという点で、参考になる取り組みです。

第4 希望

流山市議会の事例

流山市は、議会改革度ランキングで全国 1 位を獲得した実績があり、議員間討議の充実に力を入れています。

- 「議会基本条例」第 16 条で自由討議の保障を明記
- ワークショップ形式を取り入れ、ホワイトボードや付箋を活用したダイアログ型討議を実施
- 市民参加型の議会報告会や Ustream 中継など、開かれた議会を目指す工夫も多数